

写真で見る 廿日市市 文化財

広島県指定重要文化財

立善寺 5,6
廿日市市原421

慶長五年(1600)住持祐正により禅宗から真宗に改宗した。
御本尊は阿弥陀如来立像

No
5

木造 不動明王立像
もくぞうふどうみょうおうりゅうぞう



剣を持つ右手先、条策を持つ垂れた左手先を失っている。
鎌倉期作。



後姿

6

木造 天部立像
もくぞうてんぶりゅうぞう



左肩・腕を失っている。
高さ七十五cmの一木造。
頭部に甲(かぶと)をかぶり、冑(甲冑の冑を着けている天部(如来・菩薩・明王たちの邪魔をする仏敵に対し、いつでも戦える姿で待機している仏の守護神)の姿である。

写真:廿日市郷土文化研究所蔵より

